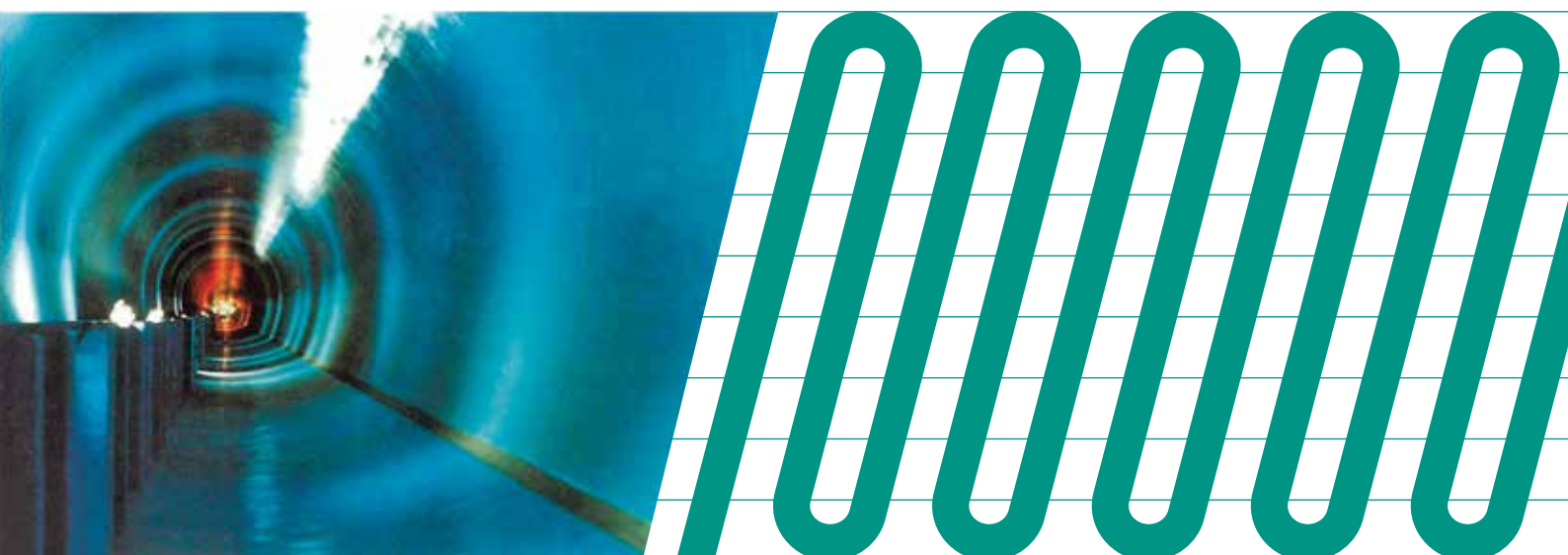


高弾性エポキシコーキング材

Jicseal E-16

ジックシール E-16



ジックシールE-16

エポキシ樹脂系高弾性コーキング材

ジックシールE-16は、同種のエポキシ系コーキング材に比べ伸縮性を改良した高弾性エポキシコーキング材です。

シリコン、ポリサルファイドなど高弾性シーリング材では得られない機械的強度、接着性、耐水性などエポキシ樹脂の持つすぐれた特性を兼備し、背面水圧を受ける地下構造物をはじめとして、各種コンクリート構造物に幅広く使用されています。

特 長

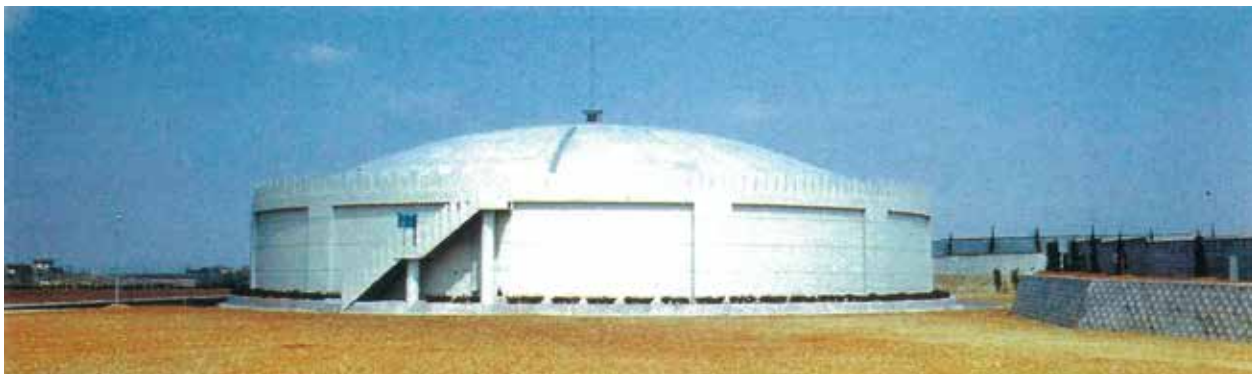
- ・高伸縮性：高い伸縮性を示します。
- ・接着性：湿潤したコンクリート、モルタルや鋼、鋳鉄に強力に接着します。
- ・耐食性：耐酸性、耐アルカリ性などにすぐれています。
- ・施工性：各季節の温度条件において、コーキングガン、ヘラ共に作業性は良好でダレが生まれません。
- ・上塗り材の適合性：エポキシはもちろんアクリル、ウレタンなど各種上塗り材が密着します。

用 途

各種コンクリート構造物の目地充填及び亀裂補修

- ・上水道施設、下水道施設、し尿処理施設、工業用水槽、プール、各種ピットなどの目地充填及び亀裂補修
- ・導水路、排水路、下水道暗渠などの目地充填及び亀裂補修
- ・トンネル、橋梁などの目地充填及び亀裂補修
- ・各種セグメント、ヒューム管などの目地補修
- ・防波堤、防潮堤、防液堤などの目地充填及び亀裂補修
- ・建築内、外壁亀裂補修

注)ジックシールE-16は、構造物の伸縮目地(エキスパンションジョイント)には適用できませんのでご注意ください。



性 状

■ジックシールE-16

項 目	主 剤	硬化剤
外 観	パテ状(白色)	パテ状(灰色)
比重(23℃)	1.31	1.32
配合比(質量)	主剤:硬化剤=1:1	
可使時間(20℃)	35分	
ス ラ ン プ	0mm	
指触乾燥(20℃)	24時間	

■ジックシールP

項 目	主 剤	硬化剤
外 観	白色粘調体	褐色液体
粘 度(Pa·s/23℃)	混合物3±1Pa·s	
配 合 比 (質 量)	主剤:硬化剤=3:1	
可使時間(分/23℃)	30±5	

項 目

項 目	試験条件		結 果	試験方法
H型引張接着力	硬化条件 23℃、14日間	5℃測定	引張強度:3.3N/mm ² 伸び率 :32%	JIS A 5757 準拠
		23℃測定	引張強度:2.0N/mm ² 伸び率 :73%	
曲 げ 接 着 力	硬化条件 23℃、14日間	23℃測定	接着力 :10.0N/mm ²	JIS R 5201 準拠
圧 縮 強 度	硬化条件 23℃、14日間	23℃測定	強度 :1.1N/mm ² ※26%圧縮時の強度	JIS K 6911 準拠
耐 薬 品 性	硬化条件 23℃、7日間 浸漬条件 23℃、7日間	水道水	異常なし	JIS K 5600 準拠
		5%Ca(OH) ₂	異常なし	
		5%H ₂ SO ₄	異常なし	
		5%HCl	異常なし	

荷 姿

■ジックシールE-16(夏型S・冬型W)

主 剤 5kg }
硬化剤 5kg } 10kg/セット × 2セット/箱



■ジックシールP(プライマー)

主 剤 0.6kg }
硬化剤 0.2kg } 0.8kg/セット



施工方法

- 下地処理
目地:レイタンス、ゴミ、錆などはワイヤーブラシ等を用いて除去し、油脂類は洗剤や溶剤にて除去して下さい。
亀裂:亀裂に沿ってVはつり又は溝はつりを行ないゴミやほこりは刷毛にて清掃して下さい。
- プライマー
通常プライマーなしで十分接着します。
湿潤面又は、より強力な接着が必要な場合は、ジックシールPを塗布して下さい。
(水滴などの自由水が付着している場合はウエス等で拭き取って下さい。)
- 配合
主剤と硬化剤を1:1の質量割合で配合し、色が均一になるまで十分攪拌して下さい。
(配合量は可使用時間内に使用出来る範囲の量を混合して下さい。)
夏型、冬型がありますので季節に応じて使い分けて下さい。
- 充填仕上げ
コーキングガン、ヘラ等を用いて深部まで行きとどくように充填し、ピンホール、気泡などを抜きながらヘラにて仕上げして下さい。
仕上げ後は、コーキング材が硬化しないうちにマスキングテープを剥がして下さい。



使用上の注意

- ・吸入したり皮ふに触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項及び製品ラベルの注意事項を守って下さい。
詳細な内容が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照ください。
- ・皮ふに触れないように保護手袋 (ゴム手袋) 等の保護具を着用する。
- ・取扱い後は手洗いを十分に行う。
- ・目に入った場合 : 清浄な水で15分以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
- ・皮ふに付着した場合 : 付着物をふき取り、水と石けんでよく洗う。
かゆみ、炎症が出た場合は、ただちに医師の診断を受ける。
- ・吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静保温に勤め、医師の診断を受ける。
- ・飲み込んだ場合 : 多量の水、牛乳又は微温塩水を飲ませて、吐かせた後、医師の診断を受ける。

代理店

発売元

日本ジッコウ株式会社

本 社 神戸市西区南別府1丁目14番6号 〒651-2116 ☎(078)974-1141(代) FAX(078)974-7786
技術研究所 兵庫県明石市硯町3丁目4番7号 〒673-0028 ☎(078)920-1115(代) FAX(078)920-1116
東 京 支 店 東京都台東区東上野3丁目3番13号 〒110-0015 ☎(03)6803-2287(代) FAX(03)6803-2297
東北営業所 仙台市青葉区木町通2丁目2番8号 〒980-0801 ☎(022)796-5312(代) FAX(022)796-5313
横浜営業所 横浜市中区本町1丁目4番地205 〒231-0005 ☎(045)307-4817(代) FAX(045)307-4818
中部営業所 名古屋市西区則武新町4丁目3番12号 〒451-0051 ☎(052)433-1350(代) FAX(052)433-1351
大阪営業所 大阪市福島区吉野1丁目20番30号702 〒553-0006 ☎(06)6486-9797(代) FAX(06)6486-9798
中国営業所 広島市安佐南区中筋3丁目27番26号 〒731-0122 ☎(082)831-7505(代) FAX(082)831-7506
四国営業所 松山市北井門2丁目1番16号 〒791-1105 ☎(089)905-3833(代) FAX(089)905-3834
九州営業所 福岡市南区清水4丁目7番29号 〒815-0031 ☎(092)512-2248(代) FAX(092)541-6331